

滑稽集
かかん
び
し

こっけいしゅう
滑稽集

巻
めい



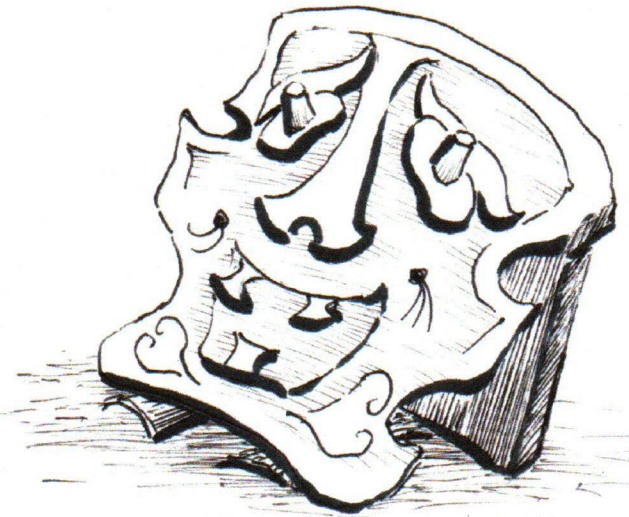


—もくじ—

- その一 ... むじゅん せつ 矛盾の説
- その二 ... こたく じゃ 涸澤の蛇
- その三 ... はくば ふ 白馬の賦
- その四 ... あし ど しん 足より度を信ず
- その五 ... むすめ 娘のへそくり
- その六 ... しらみ あらそ 虱の争い
- その七 ... たたか か 戦い勝てり
- その八 ... びもくこくさく 鼻目刻削
- その九 ... り あ ところ 利の在る所
- その十 ... ふえふ さんびやくにん 竽吹く三百人
- その十一... えいじ 嬰兒のままごと
- その十二... まげ たくみ 誦る匠人
- その十三... しん お 信を愛しむ
- その十四... し かた あら 知ること難きに非ず

楚^その国の市場である者が
楯と矛を自慢げに売っていた……

「ズカッ」



楚人そひとに

楯たてと矛ほこを鬻ひさぐ者もの

有あり

之これを譽ほめて曰いわく



吾^わが楯^{たて}の
堅^{かた}きこと



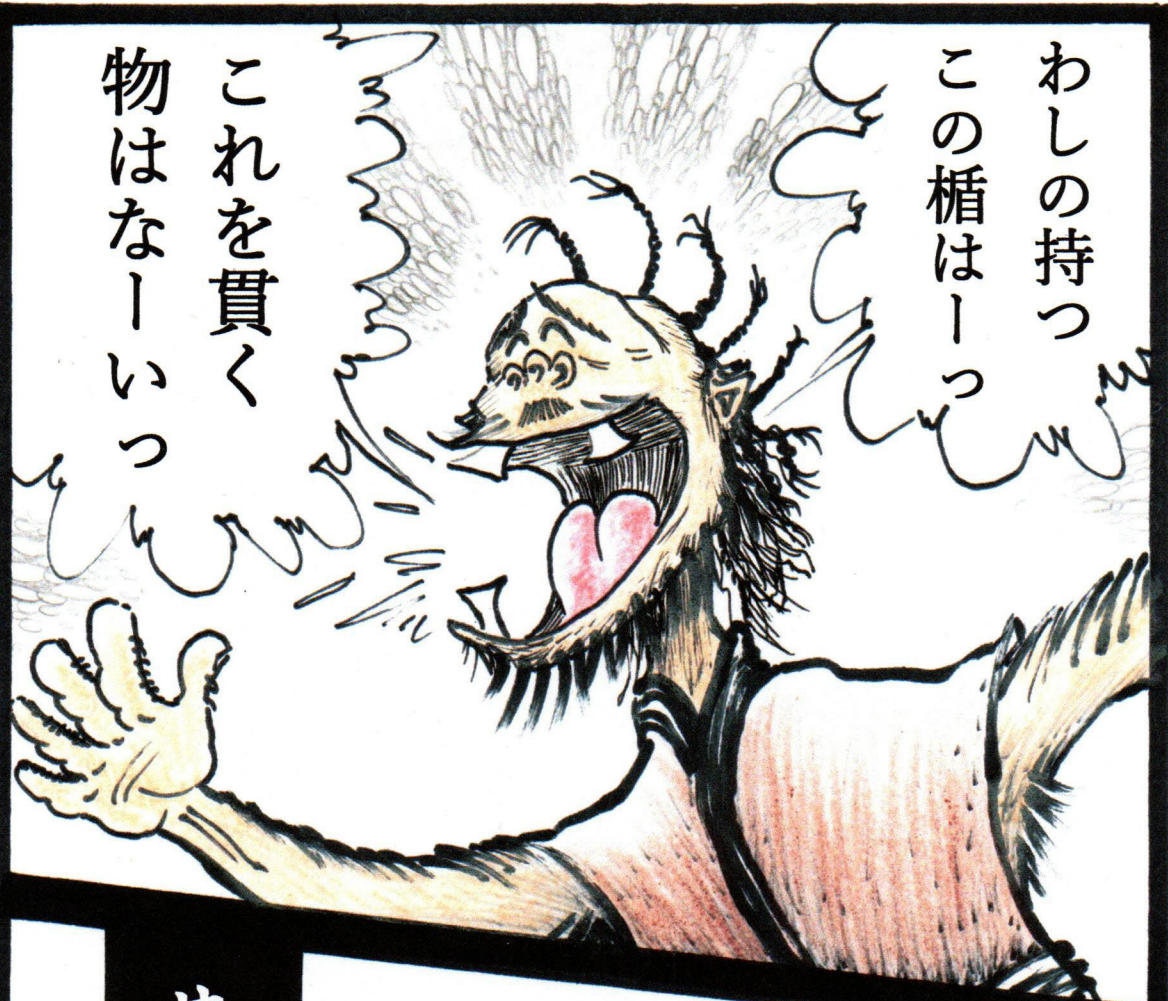
滑稽集 (緩) 韓米子

その一 矛盾の説の巻
むじゆん せつ

能くよ陥とおすもの

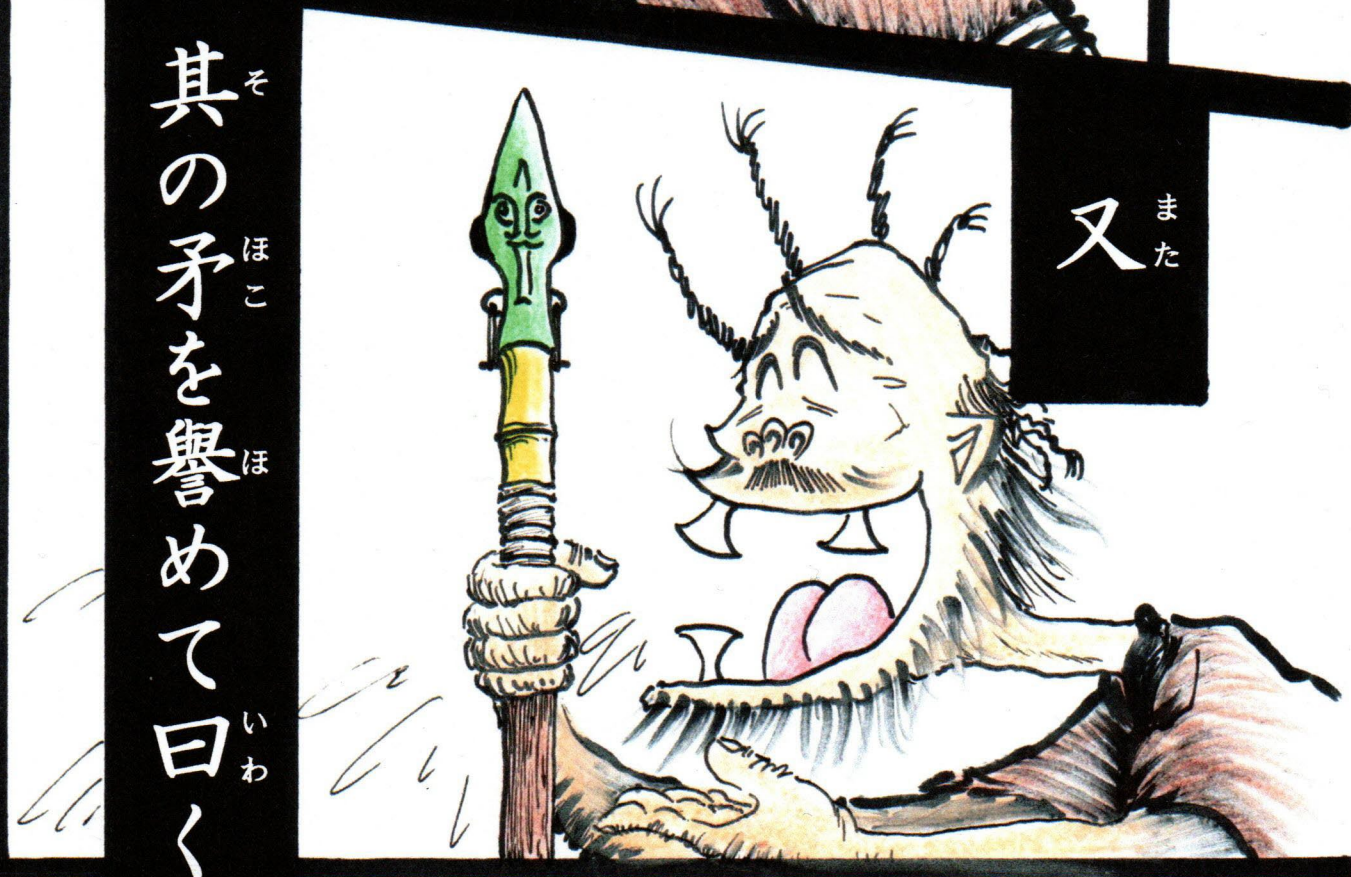
莫なき也なり一つ





わしの持つ
この楯はーっ

これを貫く
物はなーいっ



又 また

其 その ほこ ほを いわ わく

吾^わが矛^{ほこ}の
利^りなること



物^{もの}に於^{おい}て
陥^{とお}さ^ざ不^なる^{なり}無^なき^{なり}也

わしのこの矛の
鋭きはーっ



これ
貫かぬ物
何もなーいっ



或^{ある}ひと曰^{いわ}く



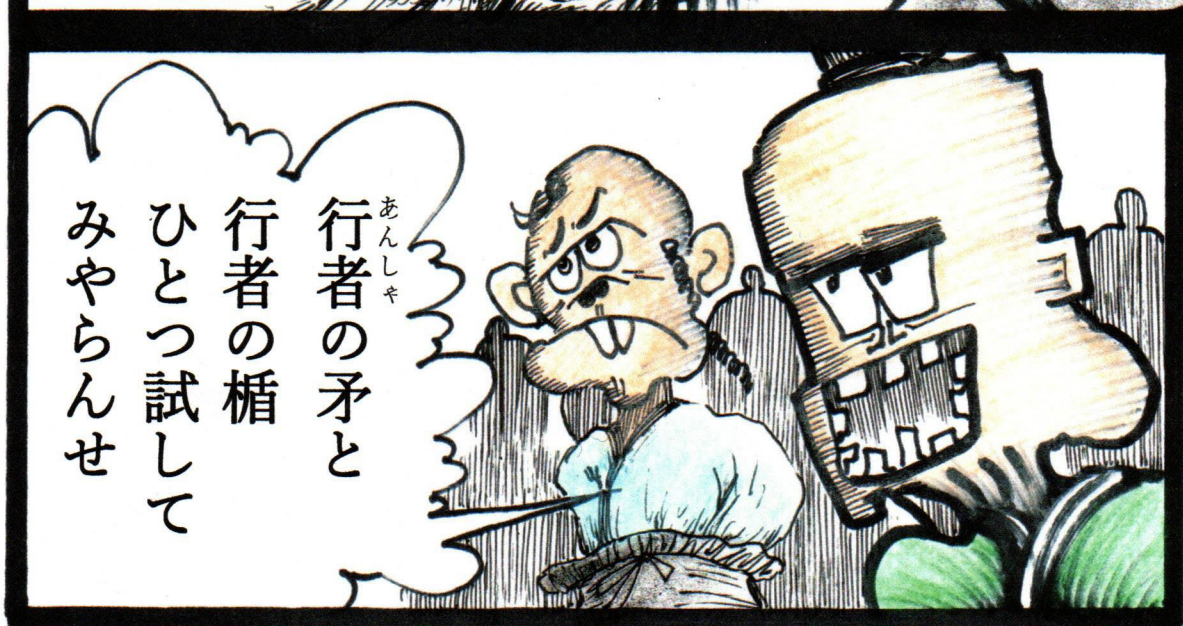
子の^し矛^{ほこ}を以^{もつ}て

子の^し楯^{たて}を

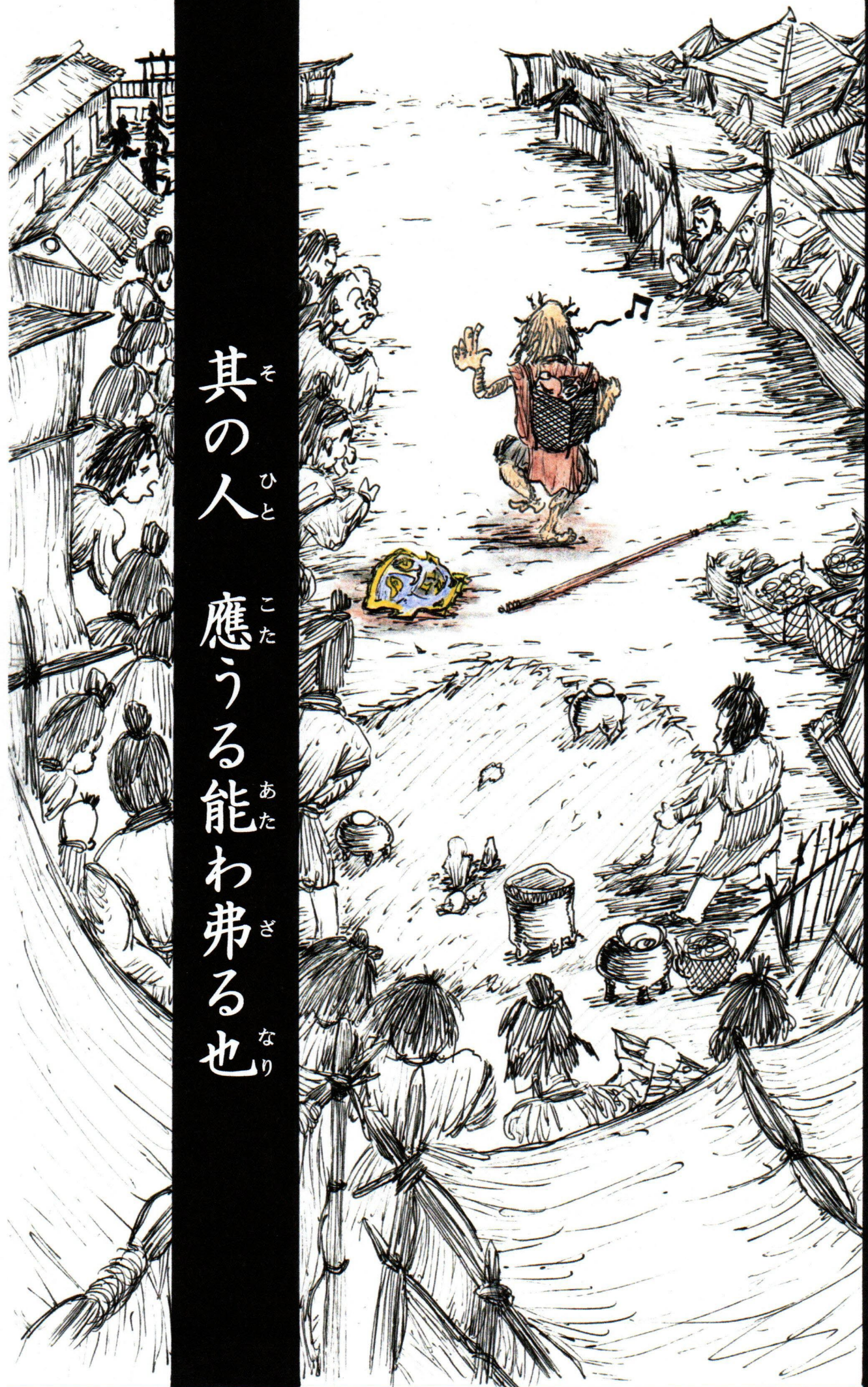
陥^{とお}さば

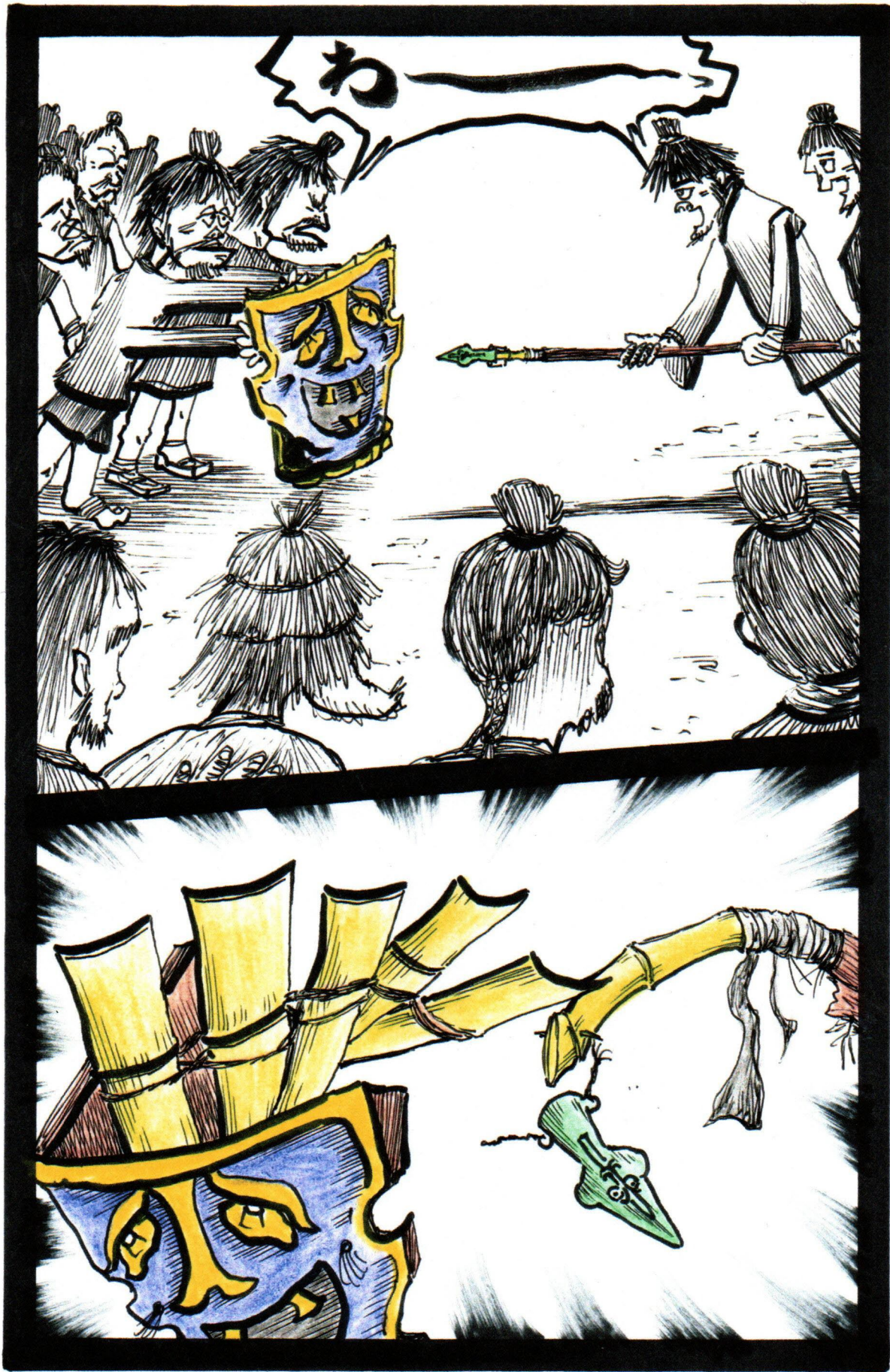
如何^{いかな}





其その人ひと
應こたうる能あたわ弗ざる也なり







夫^それ

陥^{とお}す

可^べから^ぎ不^る
楯^{たて}と

陥^{とお}ら^ぎ不^る無^なき
矛^{ほこ}とは

而^{しこう}して

世^よを
同^{おな}じくして
立^たつ可^べから^ず不

韓非子



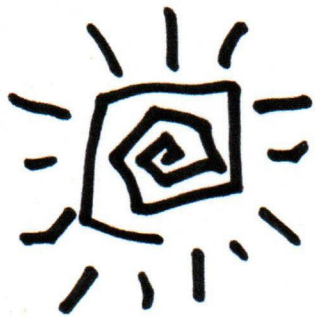
いま
今

ぎょう しゅん
堯・舜の



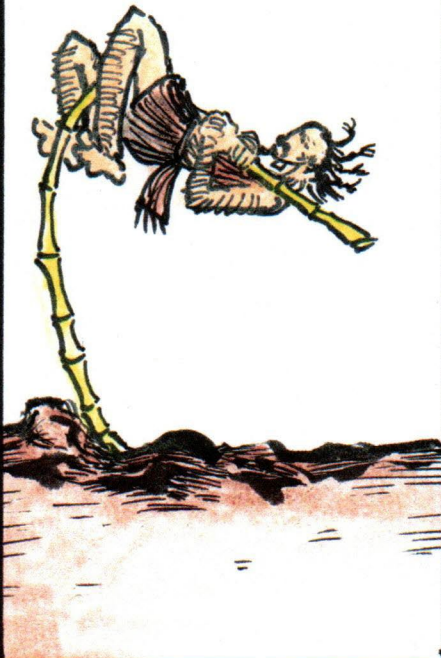
ふた
兩つながら

ほ べ さ
譽む可からずるは



む じゅん
矛盾の説

なり
也



(續)

楚人有 鬻楯與矛者

譽之曰

「吾楯之堅 莫能陷也」

又譽其矛曰

「吾矛之利 於物無不陷也」

或曰

「以子之矛陷子之楯何如」

其人弗能應也

夫不可陷之楯 與無不陷之矛

不可同世而立

今 堯舜之不可兩譽 矛盾之說也

【難】

